

科目名 Course Name	生活支援技術Ⅱ Independent Living Skills II						
年次	1 年	期別	前期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	石川 幸子						
連絡先(質問等)	福祉棟 2 階研究室、オフィスアワーは月・火・木・金の授業時間以外						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程 必修)						
関連 DP	DP2						
授業の概要と到達目標	<p><概要> 日常生活の基本行動となる移動の意義や目的、利用者のアセスメントについて学習し、移動が障害されることによる影響を理解する。そして、利用者の状況に応じた、安全で的確な移乗、移動技術を習得する。また、適切な福祉用具の活用により、生活領域の拡大および自立に向けた介護について考えていく。</p> <p><到達目標> ①日常生活における移動の意義を理解し、障害されていることの不自由さを説明できるようにする。 ②基本的な移乗・移動技術を習得できるようにする。 ③移動に関するアセスメントを説明できるようにする。 ④自立支援に向けた福祉用具を適切に選択し活用できるようにする。</p>						
授業の方法	演習科目であるが講義も併用する。講義で知識を学び、演習を通して技術の習得を行う。利用者役、介護者役を体験しながら実技を学んでいくが、単に手順を覚えることに集中するのではなく、一つ一つの介護の根拠を考えながら実践していく。また、利用者の立場から介護を受けとめ、より良い方法を考えていく機会としたい。						
学習成果	L01	日常生活における移動の重要性を説明することができる。					
	L02	移動に関する基本的な技術を習得し、福祉用具の適切な活用により、日常生活の拡大を図ることができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	レポートはコメント記入・評価後学生に返却、小テストは実技実施後の振り返り点等を記載し返却、平常試験は試験後に模範解答を示す。						
教科書/参考図書	①教科書:最新・介護福祉士養成講座 第6巻「生活支援技術Ⅰ」 中央法規出版 ②生活支援技術マニュアル						
履修上の留意点やルール等	<p>●講義・演習とも積極的に取り組み、演習時は身だしなみを整えること。また、自己練習をし、技術の向上に努めること。小テストについては、他科目との兼ね合いから、変更することがある。やむを得ず欠席する場合は必ずその部分の学習を補い、届け出は速やかに提出すること。クォーター科目の後半であり、「こころとからだのしくみⅠ」終了後から始まる。</p> <p>●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。</p>						
担当教員の実務経験	<p>●実務経験(職種:介護福祉士、職歴:通算 13 年)</p> <p>●特に高齢者介護の多様な経験を、移乗・移動技術の演習時にデモを行ったり、学生がボディメカニクスを活用できるように、指導することに活かす。</p>						
成績評価の方法と基準							
評価の領域	評価基準	学習成果の割合					
		L01	L02	L03	L04		
授業参加態度	マニュアルを活用し自主的にメモしている。演習時は身じたくを整え、積極的・自主的に参加している。指導を受け入れ技術を習得しようと努力する姿勢がみられる。	20					
レポート/作品	①安楽な体位(生活支援技術マニュアル P147) S:資料をもとに具体的にまとめている。②演習の振り返り(生活支援技術マニュアル P145)		20				

	S:演習内容を踏まえ、利用者役、介護者役両面からの学びを記述している。(各 10%)				
発表					
小テスト	技術の確認として、第 12 回目に「車いすへの移乗」の実技テストを行う。 マニュアルに沿って安全や根拠に基づいて手順が実施できること。		20		
試験	移動の意義と目的、移動・移乗における介護技術の基本的視点、安楽な体位・移動・移乗における介護技術、道具・用具の活用方法、他職種の役割と協働について理解できている。		40		
その他					
合 計			20	80	
回数		授業計画			
1	授業内容	ガイダンス(授業のねらいと進め方、成績評価の方法・演習時の留意点等)、日常生活における移乗・移動の意義と目的【講義】			
	事前・事後学習	テキスト P82～P93 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
2	授業内容	安全で的確な移動・移乗介助の技法① 基本体位、良肢位【演習】			
	事前・事後学習	自宅で 15 分間動かない姿勢であおむけに寝て、苦痛を感じた部分を挙げる。			
3	授業内容	安全で的確な移動・移乗介助の技法② 安楽な体位【演習】 (レポート① 提出:第 4 回目)			
	事前・事後学習	レポート作成。			
4	授業内容	安全で的確な移動・移乗介助の技法③ ボディメカニクス、上方移動と水平移動、体位変換、端座位 その1【演習】			
	事前・事後学習	自身の日常生活の中の動作で、ボディメカニクスを活用していると思われる動作を挙げる。			
5	授業内容	安全で的確な移動・移乗介助の技法④ 上方移動と水平移動、体位変換、端座位 その2【演習】			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P20～P24 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
6	授業内容	安全で的確な移動・移乗介助の技法⑤ 端座位、移乗 一部介助・全介助(車いす、ストレッチャー) その1【演習】			
	事前・事後学習	テキスト P131 の車いすの構造の図を書き写す。			
7	授業内容	安全で的確な移動・移乗介助の技法⑥ 端座位、移乗 (車いす、ストレッチャー) その2【演習】			
	事前・事後学習	生活支援技術マニュアル P25～P29 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
8	授業内容	安全で的確な移動・移乗介助の技法⑨ 車いす【演習】(レポート② 下部記入)			
	事前・事後学習	レポート記入。			
9	授業内容	安全で的確な移動・移乗介助の技法⑦ 歩行補助具による介助の実際(杖、歩行器等)【演習】			
	事前・事後学習	テキスト P163～P168 を読んで重要箇所にアンダーラインをひく。			
10	授業内容	安全で的確な移動・移乗介助の技法⑧ 片麻痺体験【演習】 (レポート② 提出:第 11 回目)			
	事前・事後学習	レポート作成。			
11	授業内容	移乗・移動の技術に関するまとめ【演習】			
	事前・事後学習	実技試験の練習。			
12	授業内容	移乗・移動に関する生活支援技術習得の確認・振り返り 小テスト【実技試験】			
	事前・事後学習	実技の自己評価表をチェックする。			
13	授業内容	褥瘡とその予防 同一体位による弊害、褥瘡の原因と予防【講義】			
	事前・事後学習	テキスト P121 の褥瘡の好発部位の図を書き写す。			
14	授業内容	移乗・移動に関するアセスメント【講義】			

	事前・事後学習	サルコペニア、フレイルを調べる。
15	授業内容	まとめ、他職種との連携、福祉用具の活用、生活領域を拡大するための工夫 【講義】
	事前・事後学習	テキスト P187～P190 を読んで重要箇所アンダーラインをひく。